

バスト週報

岡目八目 6

馬肉

咲いたさくらになぜ駒っなぐ
駒がいさめは花がちる...

馬肉の二つを日本ではサクラといつて居るが、たぶんこんな歌から思いついたしやれであらう。サクラは日本では牛肉の代用に食ふそうであるが、私には記憶がないので、どんな味であったか知らぬ。煮ると泡が立つとか、すきやきにすれば、煮ると牛肉とかわりがないという人もあるが、どんなものかあるうか。

先日カスカツタの某氏、否某氏などといわれないで渡部さんとする方が話か余計面白くなり、入植当時の思い出として興味深くなると思ふ。その渡部さんからサクラを食った話を聞いた。

渡部さん一家が遠くモジウからバストスへ入植した頃というから、大分古い話で今から二十数年前のことだ。渡部さんはモジウでも一応成功者の方で、貴家がバストスへ行くなり、われわれもつれてつてくれやと田中丑子、百々某その他、終勢五家、威風堂々と来たんでカスカツタの一角に居を構えたが、その時馬もつれて来たというから、生産資金一コント五百借りに辛うじて家を建てた音とだけ、おバケタが違っていた。馬の内一頭は、七馬やよほど尻を叩かなくては中央市街地迄来るのに三十分以上かかるシロモ、だった。その頃、栢野さんというカスカツタの入口に居を占し、一寸とした雑貨を商つていた人があった。商賈の方は奥さんがやり、丹那は棉花共同販売組合の仕事をする為め、中央市街地へ往復するので、馬をほしがって、食われたのはその馬であらう。渡部さんがよかつたら、お使いの馬と、貸してあげた。よかつたら、お使いの馬と、ある夕方、栢野さんが、家の前に馬を戸口にたかないで置いた所、家の中に居る買物客が、それと知り、戸をあけて、その戸は日本式で引き戸になつて、いたので、ガラガラッと勢よく音をたてた。その音に驚いたく、だんの馬は、どたんはたれ、さりとて、なつてしまった。その、ハワロさん、渡部さんの長子で、当時や、と十五歳、そのハワロさんが、少年作ら

ALFAIATARIA IMPERIAL

洋服はスタイルが生命



丸山洋服店

第三百九十二号
昭和卅二年
十月十三日
発行
RUA PRES. VAGAS, 188
C. P. 112
BASTOS
G. P.
DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
ANUAL
CR
\$100.-

Casa Taroda

肥料は マナー

みしんは シンガー

二十六回拂いという
長期フレスタン

太郎田屋 肥料部の
特別 サービス

貴下の土地を分拆して差上げます
故土壌御持参下さい



カマラータの使い手で、通りがかりに栢野商店に立ち入り、カマラータにも一杯のませ、自らもマタビッショをあふた。その勢いでも、あるまいか、焚かれて、馬はと、とも相復の見込みはない。長く苦しませるより、早く引導渡してやるが、供徳と早速手酷い、とうして引つた。病気が、かつかつて、遂にトドメをさしたか、病気が、死んだわけじゃないから、すてるのは、決、たいない、食おうで、けい、か、と相談一、ける、とうとう組中へも配布に及んで、片の、二三日すると、テレガードのベルジリ、さんが渡部さん方へ出張して、ハワロとい

お方で信者の立派な模範であるからです。その行列が
日曜日のよき日に行われたわけでありませう。

それから「ファチマの聖母」についてかんたんにお話をし
て見ましよう。ファチマという名は、ブラジルでも地名や家号
にも名前つけられているのを時々見ることがあります。今日
世界に名高い「ファチマの聖母」の靈地のことを知る人
は遺憾ながら、案外少いようです。

今から約十年前の一九一八年五月十三日、ホルトガル国のへ
んぴな村の三人の牧童ルチア(十才)、フランシスコ(九才)
ヤシント(七才)に聖母マリア様が御出現なさった。御出
現は五月から十一月十五日までの間、毎月一日、都合七回で最
後の御出現のときは十方に近い人々がそこに居合せていまし
た。聖母の御出現の証明として、「太陽の奇蹟」といわれ
る不思議な光る太陽の現象がともなわれたのですが、ファチ
マについて書かれた本には、その日の出来ごとを詳細にこ
うつたえています。

「三人の牧童に御出現の直後太陽が光の車のように回転
し、幾万條とも知れない光線が四方八方へ放たながら回転す
るに従って、光線の色が変化してゆく。それに伴って空も地
も木も、三人の牧童や見守る大群衆も次々に黄、紅、青、紫
に彩られて行く。太陽は再度回転を停止したかと思ふと、
再び更に眩しい光を放って躍り始めた。太陽は晝夜、回転を止
めるとは掛花火の名人の想像にも及ばない不思議な花火を
散らしながら三度運動を開始した。大群衆はただ恍惚と
して動かず、かたずきの人々はこの光景に見入ったのである。
この現象は十分間続いた。「私共は遂に神からのしるし
を見た」と群衆は幾千回となく語った」といふ。

その後、この御出現の場所から豊富に泉が湧き出は
じめました。この水で不治の病がいやされ、不信仰の者が信仰
に立ちかえるなど、それは無慮無算に上るようになった。また
。後半ローマの聖庁では聖母の御出現の真実であること
を認め宣言しました。現在ではここに大聖堂が建てられ
ています。そして世界各国から巡礼の杖を引く者がひきもま
らず、時には一日に何万、何十万と集ることがあります。ファチ
マは四十年前には全く人に知られないつづま、いざやの住む
小さなカトリック村でしたが、今では世界一の大巡礼場と化で
しまったのです。ここには人々は「ファチマの聖母」の御出現
に從つて、特にロザリオを誦し、ロズアリの魚神論者の改心
や罪人の改心のために祈りを捧げています。

Transformador

私の実験



夕方から十時頃まで
電燈がくらくくととも
不愉快でした
それがトランス
ホルマトルの
あかげで
生れかわった
あかるさです

- 冷蔵庫
- ラジオ
- 蛍光灯
- アイロン
- にひび必要
- 一家一台も必要

上ヶ島製粉工場取扱

バストス短歌會

席題 若葉

しんと春雨窓の若葉打つ
音ひそかなり 暖にいて
ハリ窓に青葉若葉のさゆらぐを
見つくり 獨り湯舟に浸る
アフリリス みづくと咲く若葉に
蔭濃くなりい 木棹の下に
形よく刈りこまれたる園の木々
若葉明るく 雨の灯に映ゆ
若葉爪翹にすがしくうけあつ、
忘日惜むの 黄昏さゆく
柔若葉掛肌に午後陽の温み
片手にうけて一の枝剪る
真白きカーテンゆるる窓の辺の
猫の昼寐に吹く若葉風

孤舟
若葉
子火子
チエ
和枝
一男
忠雄

のどか (仙人掌社)

立ちよみに椅子をすすりて店長閑
呆ける程この二三日の 石長閑
萬葉の主婦終とらす 家のかか
のどかさや 欠伸投てま客送る
街のどか白ん坊黒ん坊ジャンケンポン

奇華
紀南子
水仙子
和枝
ハワロ

御しらせ

西瓜の出荷期になりました。

私事此の度かエスプレッソ アルタ

ゾーナヌマツタのバストス總代理
人を引受けました。

御出荷の際カミニオン入用で
でしたら御申込下さい。

早速カミニオン差向け御用
命に応じます。

エスプレッソ アルタ

ゾーナヌマツタ

バストス總代理人

カトザ 藤原直輔

各位

Expresso Alta Zona da Matta

楢山節考 8

深沢七郎氏作

その次の夜、おりんはにぶりがち辰平を責めたるように
 に励まして楢山まいるの途についたのである。宵のうら
 みに明日みなが食べる白秋様もといでおいたし、榎耳のこ
 ども、やまへのことも玉やんによく云っておいた。家の者達の
 寐静まるのを窺って裏の縁側の戸をそとはずした。そ
 こで辰平のしよっている背板に乗ったのである。その夜は風
 はないが特別に寒いので、空は曇っている。月あかりもな
 く、真暗の道を辰平は盲人の歩みかような歩いて行った。
 おりんと辰平が出た後で玉やんは蒲団の中から起き上った。
 そしてアをあげて外に出た。根っこをこころに手をかけて暗やみ
 の中を自らすすんで見送ったのである。

辰平は裏山の橋を過って柵の木の下の来た。枝が笠のよう
 に茂っていてその下を過って行くのは、どこかの家の中へでも入
 ってゆくように無気味な暗さだった。ここまでは辰平も来た
 ことのある所だが、ここから先は楢山まいるでなければ行つて
 はならないと云い伝えられている道であった。ふたは柵の木
 の下を過らないうで右か左へ廻る道さゆくのであるが、今は
 真つすむに行くのである。二つ目の山も橋を過り、三つ目の山
 の橋をまわると池があった。空がすかに白んでそこ池を過り終
 った時はかなり明るくなった。石段が三段あってそこからは思
 な坂である。四つ目の山は上に登って行くのである。かなり高い
 山で頂上に近づく程、げわしくなってきた。

頂上について辰平は目を見張りさせたのである。向うに楢山が
 待っているように見えたのである。この山と楢山の間に地獄へ
 落ちるかと思われるような谷で、へたでられていた。楢山へ行く
 には頂上から少し降りて屋根がたいのよう道を進むので
 あるが、右は絶壁で左はそりたつ山の坂である。谷は四つ
 の山に囲まれた奈落の底のような深い谷なので辰平はしっ
 かりと足許をふみしめて進んだ。谷を過るには二里半と数え
 られたが、楢山へ近づくにつれて辰平の足はたお一步ずつ進んで
 いることを知っていた。楢山が見えを時から、そこに
 任人である神の召使のようになつてしまふ。神の命令で歩
 いているのだと思つて歩いていく。そうして七谷の所まで来たので
 ある。見上げれば楢山は目の前に坐つていようである。七谷
 を通り越すと、ここからは道はあれども道はないと云われたの
 で上へ上へと登つて行つた。木は楢の木ばかりしかなく、た
 辰平はいよいよ楢山へ来てしまつたのだと思つたので、もう口を
 まくことは出来ないぞと決心した。おりんは家を出てから何も云
 わなかつたのである。歩きながら話しかけても返事をしないの
 であつた。登つても登つても楢の木ばかり続いていた。そして
 列頭、頂上らしい所まで来たのである。大きい岩があつてそこ
 を通りすかた途端、岩のかげに誰か人がいたのである。辰平は
 かよよとして思わず後ずさりをしてしまった。岩のかげにより
 かちつて身を丸くしている。その人は死人だ。た、両手を握

つて、まるで合掌しているようである。辰平は立止つたまま
 動けなくなつてしまった。おりんが背の方から手を出して前へふ
 った。前へ進めという手ぶりである。辰平は進んで行つた。また
 岩があつてそのかげに白骨があつた。足は二本揃つているが首
 はさかまになつてそばにころがっていた。あはら骨はまっさの
 死人のように岩によりかかたままである。手は遠くの方に一
 本づつはなれてころがっていて、誰かがこころを覗いたおら
 ておいたのではないかと思われるようにバラバラになつていた。
 おりんは手を生かして前へ前へと振つた。岩があると必ず死骸があ
 つた。進んで行くと木の根元にも死骸があつた。まだ生きてい
 るように新しい死人である。そこで辰平はまたかよよとして立止
 つてしまった。目の前の死人が動いたのである。その顔をよくよ
 く見たが、口は閉ざして生きている人ではなかつた。だが「今たしかに
 動いたぞ」と思つたのを足が怪しくなつてしまった。すると又死
 人が動いたのである。その死人の胸のあたりが動いたのである。
 そこにはかみすかいたのであつた。着物が黒い、ほいりてかま
 いたのがわからなかつたのだ。辰平は足ではたつと池を蹴つ
 た。だが、かみすは逃げもしないのである。辰平はその横を過
 って進んだ。するとかみすが舞い上つた。舞はに羽を振つてま
 いよつて憎らしい程落ちつていっているからである。何かした「死
 人の方さふり向くと胸のところにまだ一ひきかかすかいた。」「こ
 みさいたのか」と思つたらその下からもう一ひきひき頭が動いて
 いた。死人は足を投げだしているのか、腹の中をかみすが食べて
 葉をくつていたのだ。と思つた。もうと申に申さるかも知れない
 と思つて憎いような怖ろしいようになつて来た。(次頁へ)

ミナトク マグネタイザー デ中風が治つた例

私、父ハ昭和二十八年十一月十五日中風ニテ寝テ三日間人事
 不省ニ陥入り、氣ガツイタ時ハ舌ガモツレテ聞キトレス、半身
 不随トナリ、失望ノ余リ目先ガ真暗トナリマシタガ、ワツ
 ネタイザーノコトヲキキ、ズメ使用シタコト、ニヶ月ヲ経ス
 コトモ聞クコトモ示スヨウニナリ、三月半ヲテ歩キキル月
 日ニハ自転車ヲ乗ルルヨウニナリ、仕事ニテキルヨウニナリ
 コシタ、オ医者サンモ中風ヲコンナニナク良クナツタ人ハ初メ
 テタト云フタイマス(栃木県 田中義雄)

不治の慢性病を氣衰で治す
 高血圧、神経痛、精力減退、不妊、不感症、喘息、
 蓄膿症、筋肉ロイマス、その他難病の人、クスリや
 注射でなからぬ病氣を治療す
 クスネタイザー 磁力線療法

御用命は
植木商店へ
 伯田大進店 オーミリミタータ



先物ヲ見ラレヨ

青年男女の交際について 2

アンドウゼンパチ

☒ 小さいときから コウサイするのがいい

青年たちの、話を聞いていますと、家庭でのコウサイというよりも、ほとんどしていないようです。アメリカ人はほんとうに自由にコウサイしていますが、それは小さい子どものときから、家庭でよその子どもたちとコウサイするなりわけをつけていて、それがずっとつづいていくのですから、男と女が話しあうということがあたりまえのことになっていいます。それですから、ニッポン人のように、かたくなったり、ホウどうほせたりするようなことがありません。

家庭でのコウサイというと、たとえば子どものケンジヨウ日に、子どもの友だちをよんで、お祝をしたり、そのほか、いろいろな遊びをつくらせて子どものときから男と女でギョウギよくあそぶようにしつけることです。しつけのいいアメリカ人の家庭では、つとめてこういうふうにして、子どもに社交、すなわち社会的なコウサイをさせているのです。そして男は女にたいして、どうしなげればいけないとか、女は男にたいしてどうすべきかということを教えるのです。

また、ダンスも、こういうおりに、家庭でさせ、正しいダンスのメリのたを教えます。ですから大きくなってからも、ダンスにムナユウになるとかいうことは、ニッポン人が考えているようにはありません。

☒ ダンスのやりかた

ある所の青年がダンスをやりたいのだが父兄がしてくれない。そしてダンスを知らないから、アメリカ人のフェスタによべられても、ダンスになると、おどれないのがはずかしくてユウウツになるとなっていました。がそのさかしい気もちには同情します。ダンスは一世たちが考えているように、わるいものではないのです。社交として、たのしみでもあるのですから、これをいかに、やっつけてはいけないとおさえることは、青年たちか心の中に、フマンな気もちをいっけいさせ、それがいろいろなきにバックハツして、よくないのです。親のいうことをきかなくなるなども、このバックハツの一つです。もっとわるくなる家を出したり、こつそり男や女の友だちとつぎあうようなことになるのです。

ですから、小さい時から、ダンスをさせることは、とてもいいことなのです。そして社交の正しいダンスのしかたをいせんにおほえます。そんなことを何にも知らずに、大きくなってから、いきなりダンスをするから、いろいろなまぢがいさかこしやさいのです。

ダンスは、ただ、だきあって、おどればいいというものにはありません。これをやる、キヤンとした、まじりがあって、それを心えていないと、すなわちダンスをするときのホアス・マネイラズを知っていないと、ハジをかくはかりでなく、そのために、あまぢをこすかすようなことになるのです。

わたしは、青年会がダンスをやることをすすめますが、農村などではけつして夜やっではいけない。ダンスは夜やらなければならぬように思っているのか、それも、まじりです。ことに子供のときから男女のコウサイをしたことのないコロニアの青年たちが、ダンスだけをコウサイだと思ひこみ、しかも、さびしい農村の夜にダンスをやるというところは感心したことはありません。日あうのキ後やっつて夕方にはおわるようにするのがいいと思ひます。ダンスの時には父兄の人の、ニ三人きて見てもらうことは必要なことです。そしてダンスのホアス・マネイラズ、すなわちエケケッタ、たとえば、からだをつけてはいけないとか、同じ人と二度つづいておどってはいけないとか、その外いろいろある。まじりを心えてやることです。

要するに、結婚まえの男女のコウサイは、みんな見ているところで、たくえん集めてするということが、まちがいのないやりにかたです。(おわり)

Alfaiataria Miyatake

開店おしらせ



男子服

御婦人タイエル

カミーザ一坊

親坊丁等に仕立てます

御愛用のカルサ・パレトー など

タバコの火で穴をあけたリ

釘にみっかけて破ったリしたとき

少しも目立たないよう元通りに

修繕いたします。御持参下さい

ルア・アテマルネバーロス
藤原金物店前

宮武洋服店

SERGI-SE INVIZIVEL

ホルトケースと ラチーノ

複習指導 木村のや先生

ヨウチエン 教室にて

毎日曜日午前九時より二時間

バタタドーセ

小野山 三郎

○ 無機成分から見た甘藷
 甘藷 一万分中全成分 九五、それに含まれる成分は
 加里 五〇、 糖連 三、 石灰 一、 塩素 三
 マネシウム 八、 燐酸 九、 珪酸 六
 硫酸 五

加里の多いのはわかるが燐酸が思ふより少ない。
 ○ 微量要素として
 生藷一kgの中に鉄 九mg、マンガン 三mg、銅 二mg、
 亜鉛 二mg を含む

甘藷が正常な發育をする為には日常肥料として施される成分の外にマネシウム、珪酸、塩素、鉄、マンガン、銅、亜鉛等が必要である。例へば微量なものであつてもそれが不足すると病氣となるより正常の發育も望まぬ、収量も少くなる。
 (岩田久敏 綜合食品化学三二九P)

○ 炭素率×新鮮な葉 稈類と空素の肥効
 稻葉、サツペ、コロシオン等の新しい材料は微生物のすくむ形の炭水化物や、ゼンイ素を多く含むで居る。
 有機物を分解するのは細菌の働きであるが、その微生物の体は外の生物と同様蛋白質ででき居る。この蛋白質を作るには、どうしても他から空素をとつて吸収せねばならぬ。稲葉等も他の細菌のふえるのに都合のよい形の炭水化物を含んで居るものは温度水分その他細菌の繁殖に有利な条件となつた時、炭水化物をどんどん分解すると同時に土中や硫安等の他の空素肥料を吸収、それらを蛋白とする自体構成に役立てる。

○ 炭素率×新鮮な葉 稈類と空素の肥効
 稲葉、サツペ、コロシオン等の新しい材料は微生物のすくむ形の炭水化物や、ゼンイ素を多く含むで居る。
 有機物を分解するのは細菌の働きであるが、その微生物の体は外の生物と同様蛋白質ででき居る。この蛋白質を作るには、どうしても他から空素をとつて吸収せねばならぬ。稲葉等も他の細菌のふえるのに都合のよい形の炭水化物を含んで居るものは温度水分その他細菌の繁殖に有利な条件となつた時、炭水化物をどんどん分解すると同時に土中や硫安等の他の空素肥料を吸収、それらを蛋白とする自体構成に役立てる。
 こういう状態のもとでは作物の根と微生物の間で絶え間のない空素の争奪戦が行われるが、根はある程度分解の進んだものでないと利用できないのに、細菌という奴は根の利用出来ない形の中からも利用できる。そこでこの争いは細菌の勝て空素を奪われる結果、よく稲葉等の新しいものをとつた時に成績が悪く収穫も少いといふ様な結果となる。

しかし長い目で見ると有機物の分解により作物の發育に必要な無き成分を可給体になるし、細菌の体に吸収されて、たゞ空素や燐酸、細菌が死ぬと土中にかへって、作物に吸収されるようになる。根と細菌がこのように激しい争奪戦を起すことのないよう、空素の含量が少く材料を用いる時は一番よいのは石灰空素堆肥を作つたり、硫安等を加へある程度分解の進んだ堆肥をやることが大効である。

空素(N) 炭素(C)の含量は植物の種類や發育の程度により大差がながいがある。前の標を争いば炭素の多いものはとうした結果に於て、大豆相5/6、豆莢の莖葉等は空素の含量は3/5倍で、それと比べてよいか、それか稻葉のように60/70倍、小麥稈の標に110/120倍という様に炭素率が高くなつてはとうしても、その旨まどるという事はできない。

土壤変度と甘藷栽培

おしらせ

お盆が近づいてまいりました
 来る十一月一日二日 昨年通りバストス
 墓地門前に出張所を設けまして

○ 墓前読經 その他 何かと 皆様の御役に立ちたいと存じます

バストス 梵 真寺

信者諸兄姉様

自転車修理は本店の特技

噴霧機 撒粉器 修繕

鉞力細工一式

多少にかかわらず

御用命下さい

ジヤクソト小型トラトルル代理店

清水 鉞力店

カーボス・ベルキンズカーボス 下柳



自然の状態に於ては土壤の肥瘠及び反応は其同があり、その結果作物の發育や、植物景観が著しくちがうことがある。土壤の酸度と相違は複雑な関連により作物の肥料成分の吸収力が肥効にちがいを生じてくる

私は盆栽を始めとする花作りがすきで、葉により花ををかせることなども學んだ。フジサイは七変化という位花をり変るものであるが、それらの種類の中には 酸度6以下は土壌は青色6.5-7.5では青及淡紅色、PH 7.5以上になると花色が淡紅色となること判っている。

一九三〇年 *Plant and Pruce* に於ると甘藷は変度6/5 以下の成績が最もよいと報じているが日本の甘藷の殆んど全部が変性土壌でPH4位のとこでも結構成績をあげている。養分性でさえなければ作るのに苦にならぬ。今アルケール一〇万キロの藷をとるとすると蔓もあるの含有成分から見ると空素 五〇〇キロ 燐酸 一六〇キロ、加里七七五キロとわけて居る。

N 二〇% の硫酸を二五〇〇キロ、P 一六% の過燐酸を二一〇〇キロ、K 六% の加里を二一三〇〇キロの肥料に相当する。
 この収以上の成績をあげている人達が平均どの位の肥料をよつて居るかといふと實際にはとりによるが半分もよつて居ないが普通である。甘藷は施肥された成分の吸収率がよく特に有機質肥料の肥効が あがる上に土地や雨水による天然の給量も吸収利用も大きいことが考えられる。
 ところが果樹でも蔬菜でも實際土から吸収する成分は

より多くのものを産さなければならぬ。程成産の多かりぬい。實際これの作物の増産には肥料と、消毒と中々費用がかかるが、諸作りが今の二三倍の収穫をあげるには肥料も大成功の問題であるが栽培技術の二三の心得だけで實際の多かりぬい。

諸作りが農作りに従うのは肥料をえ多くやればよいと配合し考えずにやられる結果空室過多による徒長病の助長に努められたという点にある。
然し多収穫を望むには多くの肥料を要するが、そこに合理性がなければならぬ。アメリカでも各地で肥料試験が行われ、大耕地では大体NPKの三要素の比率を6:3:3:8又は6:3:8:6を採用している。私はここ大耕地をやる人があつたら、硫酸や過燐酸石灰や硫酸加里、過化加里等を配合して10:8位のものを混ぜてやることをおすすめしたい。分析の結果燐酸は多いし、やいてかとした場合も燐酸は加量に比べ含まれる量が少なければ燐酸の必要量を減らすことも可能である。

甘藷の葉が黄ばみ成育中先をまわつて来た時が追肥をやる時期である。大体挿してから一〇〇日位たつて諸が肥大に向つた頃であるが、この浸尿素の0.5%溶液を葉面散布してやる。
木灰は追肥としての効果を大きい。是非やりたいものである。

第十一 增收と減収

甘藷の収量を高める条件は甘藷の持つている遺伝的特性と栽培技術の優秀環境条件のよいことであるが、実際問題としてはこの三つの条件が中々そろわない。環境の面から見ると水分が不足している河川水による養分の不足している時は肥料をやる等の外、環境の悪い時は技術が良ければ、遺伝性、環境条件、栽培技術が三角形のそれぞれ三辺を構成、中の面積が収量となる。三辺が等しく均合している時が収量多く均合がとれないと面積も小さく収量も少いのが常識である。



栽培時期

栽培時期は日が長く、暑い時で、収穫は日が短くなった時が多い。日照りの大成功なことはいうまでもない。光の強さこそ甘藷の関係、口地の性質、その継続時間、即ち日長の三つに分けて考えられる。甘藷のみになく、どんな植物でも微光線から光のますにつれ収量がましてくるが、ある点までくると、日照りがいかに強くなっても収量がふえないことが知られている。

日本では夏秋晴の時は一平方CM当り一分間に二〜二四回わり、日照りがまわっている。一日に直すが大変な量である。当地は日中の日照が強い。だから甘藷の成育の最適線を超えて居ることは考えられる。許されるならば、処と場合により作物と土壌から蒸散作用を行わせ、甘藷の成育に適する。微気象を作り出すことも考えられる。

そのためには灌漑設備も考えねばならぬ。光線の強いことは高温を伴うが葉や土からの水分の蒸発は蒸発熱としてつはわるる量は大きい。

死亡通知 並に

會葬御礼

父、虎一儀予ねて病氣療養中の処、薬石効なく去る十月九日午後四時六十一歳を一期とし永眠いたしました。翌十日午後二時自定出棺バストス墓地に埋葬任りした。ので此儀生前辱知の皆様へ御報らせ申上げ且つ故人への御交誼に対し厚く御礼申上げます。尚葬送に際しましては御多用中遠路態々御會葬を賜わり、その上御丁重なる香奠、花輪等御惠供下され御芳志の段ありがたく御礼申上げます。

実は一々御礼に参上いたす可きところ取込中其の意を得ず、失礼乍ら紙上を以て御挨拶申上げます。
一九五七年十月十一日

カスカッタ區
喪主 長男 萬 谷

- 三女 輝子
- 四女 節子
- 五女 光江
- 六女 孝昭
- 次男 友吉
- 親戚 福壽
- 妻(故人長女) 白須 礼三
- 妻(故人長女) 白須 真佐子
- 親戚代表 白須 千之助
- 友 人 松永 清市
- 遠藤 常治
- 池田 信雄
- 森田 金義
- 高橋 久雄
- 組代表 各位

カスカッタ區御在任
バストス御在任 各位